

赤十字ニュースinとくしま

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

Vol.48 2023.12

日本赤十字社徳島県支部

徳島市庄町三丁目12番地1

TEL.088-631-6000 FAX.088-631-6100

<https://www.jrc.or.jp/chapter/tokushima/>



地球温暖化により世界中で自然災害が頻発 いのちを守るため、私たちが今、できること

ひとたび災害が起こると、いつもの景色がひどく変わってしまいます。大雨がもたらす川の氾濫や土石流。地震による津波や液状化。近年、地球温暖化の影響を受け、世界各地で被害の大きい自然災害が続けざまに発生しています。

また、気候の変化などにより豪雨も増加傾向にあり、1時間降水量80mm以上の「猛烈な雨」は、この35年で約1.8倍※に増加しています。それに伴い、洪水や浸水、土砂災害などの危険性も高まっています。

今年(2023年)は、日本各地で豪雨による被害が多数発生したほか、北アフリカのモロッコではマグニチュード6.8の大地震、リビアでは下流域のデルナ市を中心に大洪水により、多数の死者、負傷者など甚大な被害が発生しました。私たちも自分のいのちを守るために、災害に対する意識を高めることが大切です。

災害からいのちを守るためには日頃から自ら備えておくことが必要です。ハザードマップの確認や街歩きで自分の住んでいる地域を知ること、家族や親しい人と安否確認の方法を決めること。

避難所生活でもバリエーション豊かな食事の提供が可能となります。

防災訓練の参加や家族での災害時の相談など、できることからはじめてみませんか。

出典…気象庁ホームページ「大雨や猛暑など(極端現象)のこれまでの変化」※長期変化傾向(統計期間の始めと直近の各10年間の平均発生回数を比べた増加割合)

[写真左上から]

- 被災者を戸別訪問し、こころのケアを行う赤十字救護員(令和5年5月能登地方地震)
- 捜索・救助活動を行う赤十字ボランティア ©リビア赤新月社(リビア洪水)
- 避難者に寄り添う米国赤十字社ボランティア ©米国赤十字社(アメリカ・ハワイ火災)
- 被災者への救援物資を運ぶ赤十字職員(令和5年7月7日からの大雨災害)

南海トラフ巨大地震の30年以内の発生確率は70%、死者は全国で約23万1千人と予想されています。

日本赤十字社徳島県支部でも災害に強い地域づくりを支援するため、当支部オリジナルの要配慮者用段ボールベッドのほか、今年からは新たに災害用移動炊飯器「専用鉄板」の各市町村への配備を進めています。ご飯を炊く、汁物を作る移動炊飯器に「焼く」というエッセンスが加わることで、長期にわた

皆様の思いのこもった救援金が多数寄せられました。心から御礼申し上げます。

モロッコ地震救援金

●日本赤十字社受付金額 9,076万9,834円 (9/30時点)

リビア洪水救援金

●日本赤十字社受付金額 4,834万3,911円 (9/30時点)



災害用移動炊飯器「専用鉄板」で炊き出し訓練を行う赤十字奉仕団



JRCトトレセンで中学・高校生リーダーを養成！

学校や地域でリーダーシップを発揮できる児童・生徒を育成する「青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター」。「JRCトトレセン」とも呼ばれています。

JRCトトレセンとは、「やさしさ」や「思いやりの心」を育み、自ら主体的に行動することができるよう集団生活を通してリーダーシップを学ぶ体験学習の場です。

ここでは指導者からの指示や号令、チャイムはありません。随時更新される掲示板の

情報と時計を確認し、注意深い生活を送ります。

今年は、中学校の部を7月27日・28日、高校の部を8月7日・8日に開催。中学・高校のJRCトトレセンは約4年振りの対面開催となりました。

JRCメンバーは、プログラムを通して赤十字の成り立ちを学んだり、青少年赤十字の「気づき・考え・実行する」という態度目標を身につけました。また、竹ひごタワーを用いたワークショップでは、指揮を執る人だけがリーダーではなく、

互いの違いを認め合いながら、それぞれが持つ力（リーダー性）を発揮し、協力し合うことの大切さを学びました。

中学生は、青少年赤十字のボランティア活動の一つである「1円玉募金」で支援している国についてより知識を深めるため、各自が準備してきた資料をもとに、人々の暮らしやその国が抱える問題などについてまとめ、発表を行いました。高校生は、避難所運営ゲーム「HUG（ハグ）」を使って避難者が次々にやってきた状況を

想定。積極的に意見を出し合いながら、皆が過ごしやすい避難所を考えました。

そのほか、災害用炊飯袋「ハイズックス」を使った炊き出しや赤十字の救護倉庫、災害救護サポートセンターの見学を実施。新しい知識や体験からメンバーの防災力は一段と向上したようでした。

参加された皆さんがJRCトトレセンで得た新しい知識や技術を活用し、学校や地域のリーダーとして活躍してくれることと期待しています。



●プログラム前に掲示板を確認するメンバー



●ワークショップを通して、互助の心を学びます



●HUGで避難所内の配置を考えるメンバー



●ハイズックスを災害用移動炊飯器に投入するメンバー

●参加したJRCメンバーの感想

炊き出しや避難場所での活動の仕方を学び、災害時の対応や自分たちにできることがあることが分かった。

リーダーシップは誰もが持つ力だということが分かった。周りを見ることが出来るリーダーを目指したい。

初めは緊張していたけど、周りから積極的に話しかけてもらえて嬉しかった。今後は、環境が変わっても自分から行動したい。

周りを見て自分ができのを探し、自ら実行する力が培われた。

コロナ禍でもみんな一緒に阿波踊り

徳島赤十字ひのみね医療療育センターは、心身障がい児者の治療や生活支援などを行う病院機能を持つ福祉施設です。

コロナ感染拡大から3年が経過していますが、施設内では利用児者様に楽しく生活を送ってもらうため、感染防止対策を行いながらそれぞれの病棟で季節ごとのイベントを企画しています。

全体行事として一体感を共有できるように、同じゲームをそれぞれの病棟で行い得点を競い合ったり、全館放送でお囃子を流し、阿波踊りを同時に踊りました。阿波踊り経験者である職員が衣装を着て踊りだすと、自然に笑顔になり両手をあげて「やっとなー!」、一緒に踊っていました。

これからも、利用児者様や地域の方々に、沢山の笑顔や大きな笑い声があふれるイベントを提供していきます。



●阿波踊りで笑顔あふれる利用児者の皆さん



徳島赤十字ひのみね医療療育センターのホームページはこちら

「からだにやさしい治療」をご紹介します

徳島赤十字病院で取り組んでいる負担の少ない治療について、一般の方にも分かりやすくお伝えするため、「からだにやさしい治療センター」のホームページを開設しました。

ホームページでは内視鏡治療やロボット手術、カテーテル治療、小切開

手術から術後短期間で回復しやすい麻酔方法まで、診療科別・疾患別に検索できるようになっています。

これらの治療は一般的な手術に比べ、痛みやからだへの負担が少なく、入院日数も短縮できます。このホームページを参考に、当院での治療を考えていただければ幸いです。

当院では、個々の患者さまにとって最善の方法をチームで検討し、できる限りからだにやさしい治療を提供することを目標にしています。



特設ページをチェック!

人道の心を後世に伝える 「赤十字人道紙芝居」語り部ボランティア

約100年前、徳島に「奇跡の収容所」と呼ばれた収容所がありました。厳しい待遇が当然の収容所の中で、板東俘虜収容所では、ドイツ兵捕虜たちの人権を最大限に尊重した施設運営が行われていたため、捕虜たちは自由で快適な収容所生活を送ることができました。

そうした板東での人道的な史実を、紙芝居を通して未来を担う子どもたちに読み伝えているのが「赤十字人道紙芝居」語り部ボランティアです。

語り部ボランティアとして活動する矢野さんらは、「この紙芝居が赤十字の心を学ばせかけとなることを願い、これからも語り継いでいきたい」と思いを話しました。

学校や地域への出張上演のお問い合わせ

日本赤十字社徳島県支部 事業推進課
(TEL:088-631-6000)まで。



● 小学校の人道学習で紙芝居を上演する様子



● 地域の方々にも紙芝居を上演し、人道の心を広めています



奉仕の心を持つきっかけに 地域赤十字奉仕団が 福祉体験学習をサポート

地域に根ざした様々な活動を行い、赤十字を力強く支える地域赤十字奉仕団。活動の一環として小学校で実施する「福祉体験学習」にも参加しています。

子どもたちが高齢者疑似体験で身に着ける装具の着脱や車いす体

験のコース上での見守りなど、子どもたちが身の回りにいる高齢者やその暮らしについて理解を深め、いのちと健康を大切する心を育むことができるようサポートしています。

これからも地域に根ざした奉仕団活動を続けていきます。



● 高齢者疑似体験の子どもたちをサポートする赤十字奉仕団員

知っていますか？ 乳幼児の一次救命処置 あなたにもできる手当があります

子どもに起こりやすい、けがやその手当、看病の仕方、子どもへの人工呼吸・胸骨圧迫とAED（自動体外式除細動器）の使用法、災害時における乳幼児の支援方法などを学ぶことができる赤十字幼児安全法。

子どもが突然倒れるところを目撃したり、倒れているところを発見した場合に、居合わせた人が直ちに救命処置を行うことで尊い命を救うことができます。

当支部の子育て支援施設である徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院からも乳幼児の養育に特化した幼児安全法指導員を派遣します。

子どもの“もしも”に備えて、いのちを繋ぐ方法を学んでみませんか。

講習のご要望やお問い合わせ

日本赤十字社徳島県支部 事業推進課
(TEL:088-631-6000)まで。



● 救命手当を体験する子ども



● WEBでも学べます

「赤十字ウェブクロス」
ホームページはこちら



災害への備えと赤十字の一体感 中国・四国ブロック合同災害救護訓練に参加

11月11日、日本赤十字社中国・四国各県支部主催の伊予断層を震源とする地震を想定した救護訓練に医療救護班1チーム12名（医師3名、看護師5名、薬剤師1名、主事3名）が参加しました。

日赤愛媛県支部に到着報告後、松山赤十字病院での病院支援（本部運営や救護エリアで

の活動）を行うよう指示があり活動開始。班長を中心に活動方針や役割分担の確認を行い、それぞれの業務にあたりました。

南海トラフ巨大地震をはじめ、頻発化する豪雨災害等の自然災害に備え、今後も救護訓練や研修等を通して、救護体制の強化に努めて参ります。



● 災害対策本部にて活動指示を受ける救護員



● 傷病者の症状を確認する医師

赤十字活動支援費 こんな支援方法もあります！ ～クレジットカードで寄付～

赤十字活動は皆様から寄せられる
赤十字活動支援費に支えられています。

仕事などで振込に行けない、
キャッシュレスで支援したい方は、
右下のQRコードから、
お手続きが可能です。
ご支援方法は、
毎年・毎月・今回のみの
3種類からお選びいただけます。



振込以外でも、赤十字活動をご支援いただけます。

寄付に関するお問い合わせ

日本赤十字社徳島県支部 総務課
(TEL: 088-631-6000)まで。



キャッシュレスでの
支援はこちら



人間を救うのは、人間だ。

日本赤十字社 スローガン

学生献血ボランティア活躍中

徳島県赤十字血液センターでは若年層献血者確保に向けた取り組みを行っています。今回は、その取り組みに様々な形で協力してくれる心強い味方『学生献血ボランティア』の活動内容を紹介します。

まず、学生向けのチラシやポスターなどを作成しており、どのように若年層に訴えかけるか、デザインはどのようなものが“うける”かなど、日々、試行錯誤しています。完成したもの

は県内の大学や専門学校に掲示させて頂き、学内での献血PRに一役買っています。

また、学生献血ボランティア主体の献血キャンペーンをショッピングセンター等で実施しており、当日の献血者数を花で表して献血を呼びかけたり、学生が考えた記念品(扇子、ブランケットなど季節に合わせたもの)をプレゼントするなど、キャンペーンごとに工夫を凝らしています。



ラブラッドとは

ラブラッドは日本赤十字社と献血者をつなぐ、Web会員サービスです。
Webサイト・アプリ、どちらからでも献血の予約、事前の問診回答などが可能になりました。
献血会場での混雑の回避、滞在時間の短縮、接触機会の削減ができるので、
安心して安全、より手軽に献血協力ができます。

スマホが献血カードの
代わりになるっ



ラブラッドアプリは、
こちらからダウンロードください。

App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう



※ Apple および Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
※ App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
※ Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

献血予約

Webサイト・アプリから献血予約が可能！
当日予約(3時間前)*もできるので、お近くの献血会場を選択して、手軽に献血できます。

※献血会場によっては当日予約できない場合があります。



事前問診回答

これまで献血会場でしかできなかった問診回答がWebサイト・アプリからできるようになりました。



血液検査の確認

ご自身の献血記録をいつでも確認することができます。



会員特典

ご協力いただいた献血種類に応じて、献血ポイントがたまります。また献血予約することで予約ポイントも付与されます。それらはオリジナル記念品と交換が可能です。その他、イベントやキャンペーン情報のご案内や、便利な機能を多数備えています。



献血のご協力はコチラ

献血ルーム アミコ

●受付時間 9:30~13:00
14:00~17:00
(成分献血は16:00まで)

※アミコ専門店街の開店前及び休館時は3Fシビックセンター広場入口か1F郵便局横入口をご利用ください。

●定休日:毎月第1・3火曜日

※悪天候時及び年末年始には臨時休業させていただきます場合がありますので、お問い合わせください。

●住所:徳島市元町1-24

アミコビル3F(JR徳島駅前)

●電話番号:0120-688-950

●右の①~④の駐車場をご利用ください。
※献血に要した時間分のサービス券をご用意しております。



献血中も
TV視聴



Free-WiFi
あります



充実の
フリードリンク

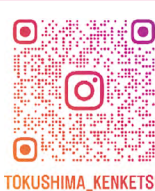
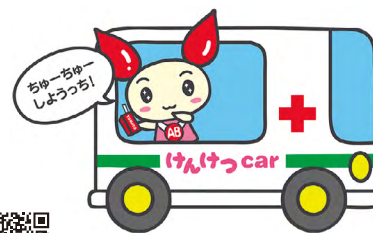
献血バス

●徳島県内を巡回中の献血バスで、ご協力いただけます。

(400mL献血のみ)

●電話番号:0120-688-994

●献血バスの日程は
徳島県赤十字血液センター
ホームページでご案内しています。



TOKUSHIMA_KENKETSU

Instagram 始めました

献血の基準や献血スケジュール、
キャンペーン情報は
Instagramでも確認できます。

●日本赤十字社徳島県支部管内の赤十字施設をご案内します●

日本赤十字社徳島県支部事務局

徳島赤十字病院

徳島県赤十字血液センター

徳島市庄町三丁目12-1

小松島市小松島町字井利ノ口103番

徳島市庄町三丁目12-1

TEL.088-631-6000

TEL.0885-32-2555

TEL.088-631-3200

徳島赤十字ひのみね医療療育センター

徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属支援施設

徳島赤十字ひのみね医療療育センター附属乳児院

小松島市中田町字新開4-1 TEL.0885-32-0903

小松島市中田町字新開4-1 TEL.0885-32-0903

小松島市中田町字新開2-2 TEL.0885-32-0555